

## 都島工業高校で出前講座

### 関西鉄筋工業協同組合

建築科の3年生38人が鉄筋組立、圧接作業を体験

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は5月7日、大阪市都島区の大阪市立都島工業高等学校で出前講座を開催しました。同校では昨年に続き2回目の開催となります。また、今回も関西圧接業協同組合（濱野功理事長）の協力を得ています。当日は建築科建築生産コースの3年生20人と同じく計画コース18人の、合わせて38人が受講し、鉄筋の組立作業や圧接作業の体験、実演を見学しました。

講座の冒頭、組合の戸田裕雄副理事長が「鉄筋はコンクリートを打ってしまうと建物の外からは見えなくなってしまうが、我々が心を込めて組み立てた鉄筋がその中に入っていることを実感してもらえれば幸いだ。皆さんの多くは将来、建設業界に進まれると思うが、その時に職人が汗を流して働いていることも思い出してほしい。講座では安全に注意してけがのないように作業してください」と挨拶しました。

引き続き、森山直樹技術部会長が鉄筋の役割や注意事項などの説明を行った後、生徒たちは5班に分かれて2級技能士検定試験モデルの組立作業と、圧接作業の実演見学及び作業を体験しました。鉄筋の組立作業では講師の指導を受けながら、生徒たちは慣れない手つきながらも、真剣な表情でハッカーを使って結束に取り組んでいました。また、圧接の実演見学ではガス圧接の仕組みや鉄筋継ぎ手工法の種類を学ぶとともに、生徒の代表が実際の圧接作業を体験しました。約2時間30分の講座が終了した後は、森山技術部会長の講評と生徒代表による挨拶が行われました。

今回の出前講座に参加、協力をいただいた組合関係者は次のとおり。

- ・ 戸田副理事長、森山技術部会長、恵谷理事、田村理事、福本さん（福本鉄筋工業）、今村さん（吉岡工業）、岩田さん（正栄工業）、渡辺さん（田村工業）、中川さん（恵谷鉄筋）、三島さん（長木鉄筋）、川手さん（戸田鉄筋）、浜崎副理事長（関西圧接組合）、中村さん（圧接組合）、藤光さん（関西圧接組合）

講座状況は次ページへ

